

千葉都市モノレール 中期経営計画

平成26年度～28年度(3ヶ年)

中期経営計画の基本方針 (平成26年度～28年度)

〈 千葉モノレールの抱える課題 〉

- ◆ 開業以来25年以上が経過し、多くの設備が更新時期を迎えていますが、今後もお客様の安全を最優先とした修繕や設備更新を計画的に行い、お客様から信頼される安全かつ安定した輸送を継続していくことが必要です。
- ◆ 市内の商店街や観光施設等は、地域経済の活性化に向けて、多様性を求めて“コラボレーション”し始めています。日常生活の足として機能してきた千葉モノレールに対しても、単なる交通機関にとどまることなく、街の活性化や観光振興を進める役割が期待されています。
- ◆ 将来的に人口減少と少子超高齢化が予測されるため、今後もモノレール利用者数の伸びは期待できませんが、信頼される輸送機関としての使命を全うするために、安全やサービス向上に対して必要な投資ができる健全な経営を持続させることが必要です。

経営戦略

● 安全・安心を一層強化します！

経年劣化した設備を再点検し、必要な修繕や設備更新を計画的に行うとともに、安全管理体制を一層強化してまいります。

また、自然災害など非常事態においても最大限の安全確保をするための取り組みを推進し、安心してご利用いただける輸送機関を目指します。

● お客様の利便性を向上させます！

人口減少と少子超高齢化などによる社会構造変化等に伴い多様化したお客様のニーズを掴み、利用者の視点に立った輸送サービスを提供します。また、街づくりや観光振興などの面でモノレールが今後地域に果たすことのできる役割を見出し、地域や行政とも連携して様々な施策を実行します。

● 効率的で健全な経営を充実させます！

安全・安心な輸送サービスを利用者に提供するため、輸送の安全に係る設備投資、修繕に必要な資金が持続的に確保できる効率的で健全な経営を進めていきます。また、職場環境の改善、営業体制の見直し等により社員一丸となって改善に取り組む組織体制を構築します。

行動計画(平成26年度～28年度)

I. 安全対策の強化・再構築

- ① 安全に係る設備の改修・・・ATC/TD装置等経年劣化した設備の計画的な更新、国の安全対策基準に基づく車両改造
- ② 安全な利用環境の提供・・・ホーム走行床への転落防止対策の強化、千葉駅ペデ階等の吊り天井の落下防止対策、劣化設備の点検保守の強化
- ③ 自然災害対策・・・車両基地耐震補強工事、輸送に係る安全管理体制の強化、災害対応訓練・教育の充実

II. お客様満足度アップ

- ① 「お客様の声」の充実・・・駅設置の「お客様の声」のほか、利用者ニーズを調査して施策に反映
- ② CS活動の更なる充実・・・サービス改善委員等によるCS活動の更なる強化
- ③ 駅周辺環境の改善・・・駅構内・駅周辺の点検及び美化運動
- ④ 輸送サービスに係る機器の充実・・・将来の利用状況を見据えた駅務機器の更新
- ⑤ 高齢者や障がい者へのサービス向上・・・利用者の立場に立ったサービスの提供
- ⑥ 無人駅の活性化・・・モノレール応援隊の充実、社員による巡回の強化

III. 沿線施設との連携

- ① 沿線観光施設との共通割引券の発行・・・千葉市動物公園、加曽利貝塚等の沿線施設とモノレールの共通割引券を発行
- ② 施設との連携イベントの実施・・・モノレール車両や駅舎と施設を利用したイベントの企画、PRを協働実施

IV. 行政施策の実効性ある推進のためのコラボレーション

- ① 高齢者の利用促進・・・シルバーフリーパスの発売
- ② 中心市街地の活性化・・・葭川公園駅舎内スペースの活用、近隣商店街と連携した共通割引券の検討
- ③ 輸送手段としての多様性の推進・・・サイクル&モノレールの検証、実施推進

行動計画(平成26年度～28年度)

V. 社員一丸となった運営体制の強化

- ① 業務改善提案制度の充実・・・経費節減、収益アップ、事務・作業の効率化等
- ② 資産の有効活用・・・駅舎スペースや車両基地の有効活用
- ③ 広告事業の拡大・・・広告事業の実施体制見直し、広告媒体強化
- ④ 効率的な設備修繕・・・点検強化による計画的かつ効率的な設備修繕

VI. 組織の活性化と人材育成

- ① 経営陣と社員の密接な交流・・・ランチミーティングやイベントへの積極的参加を通じての社内コミュニケーションの充実
- ② 人材育成の一層の充実・・・女性運転士の育成などの人材の活用、業務スキルの習得に向けた育成プランの構築
- ③ 社員意識の向上・・・お客様満足度アップ社員表彰制度の充実

経営収支計画 (平成26年度～平成28年度)

【損益収支計画】

項 目	37期	38期	39期	H26～H28
	H26年度 2014	H27年度 2015	H28年度 2016	
営業収入	3,148	3,142	3,125	9,415
営業費	3,001	3,044	2,998	9,043
営業損益	146	98	127	371
営業外損益	△ 4	13	17	26
経常損益	143	111	144	398
特別損失	24	11	48	83
税引前当期損益	119	100	96	315
法人税等	1	1	1	3
当期損益	118	98	94	310

【資金収支計画】

項 目	37期	38期	39期	H26～H28
	H26年度 2014	H27年度 2015	H28年度 2016	
収入計	3,155	3,159	3,142	9,456
支出計	3,627	3,185	3,559	10,371
単年度資金過不足	△ 472	△ 26	△ 418	△ 916
前期繰越	2,372	1,900	1,874	
資金残高	1,900	1,874	1,457	